

[教室紹介](#)[各部門紹介](#)[研究紹介](#)[業績紹介](#)[教育・医局員募集](#)[お問い合わせ](#)

教授・医局長挨拶

[HOMEに戻る](#)

教授挨拶

平成25年10月1日より神戸大学大学院医学研究科麻醉科学分野教授、神戸大学医学部附属病院麻醉科長、同集中治療部長を拝命し神戸大学に赴任しております。

神戸大学麻醉科は、昭和43年に開講した日本でも有数の伝統ある麻醉科学講座であり、これまでたくさんすばらしい医療人、研究者を育て、診療、研究、教育のすべての分野で多くの実績を残してきました。このたび、教授就任にあたり、神戸大学麻醉科学教室の伝統を大切に、一人でも多くの患者様へ最高の医療を提供するため、豊富で正しい知識と確かな技術を持った医療人の育成を目指して、診療、教育、研究を行う所存であります。

近年の麻醉科学は目覚ましい進歩を遂げています。麻醉方法も昔と違って大きく変わりました。効果発現が早く代謝率が低い調節性のよい鎮静薬や鎮痛薬が使用できるようになるとともに、多くの生体モニターが開発され、麻醉はより安全に行われるようになってきています。一方、社会の高齢化に伴い、高血圧や動脈硬化などの心疾患や糖尿病、脳梗塞などの合併症を持たれた患者様が手術する機会が増え、我々麻醉科医の役割が一段と重要になっていることは間違いありません。

手術の麻醉は術中の管理はもちろんのこと、最近では、いかに痛みを少なくしてよい目覚めを提供できるかなど、麻醉の質が問われる時代になっています。また、麻醉科医の仕事は、手術の麻醉や全身管理だけでなく、重症患者様の集中治療や、痛みからの解放を目指したペインクリニック、さらに緩和医療などへと大きく分野を広げ、我々麻醉科医は多くの分野から必要とされてきています。このような麻醉科医を取り巻く医療環境の変化に加え、現代は超高速化の情報社会です。多くの情報の中からspeedyに必要な情報を拾い上げ、大きな一本の幹に知識を蓄え、本物の実力を身につけていくことが必要不可欠と考えています。

大学として高度な医療、高度な手術を患者様に安全に提供させて頂くのはもちろんのこと、我々はすべての患者様のために、常に新しい技術を取り入れつつ、手術がもたらすあらゆる侵襲から生体を護ることを考えます。また、これらの知識や技術により、重症患者様を一人でも多く回復させること、そしてあらゆる痛みからの解放を目指しています。これからの医療を担う若い人々の育成と教育、さらに、最適な麻醉法や痛みの治療法の開発などの研究を含め、広い視点から教室を運営したいと考えています。これまでの神戸大学麻醉科の歴史と伝統を守りつつ、国際都市・神戸の地で多くの麻醉科医が学び育っていける麻醉科学教室を創ります。どうぞよろしくお願い致します。

平成26年2月

神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 麻醉科学分野 教授
溝渕 知司



教授：溝渕 知司

[HOMEに戻る](#)

所在地

〒650-0017
兵庫県神戸市中央区楠町7-5-2
TEL: 078-382-5111(代表) 078-382-6172(医局直通)
FAX: 078-382-6189
E-Mail: anesth@med.kobe-u.ac.jp

[PAGE TOP](#)

Copyright (c) 神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 麻醉科学分野
All Rights Reserved.